第三種郵便物認可　新聞定價一ヵ月60円　一部賣3円〔月曜休刊〕
磐城日日
昭和27年（1952年）6月26日（木曜日）　【第563号】

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人　長瀬芳郎

石城教組の緊急臨時大會
吉田政策は復古的
彈壓法反對の方針を決議

日教組全國大会（新潟）に縣代表として出席した小浜石城支部長並に清野書記長らは同大会の決議に基ずき、組織防衛斗爭の急務を痛感、縣教組に大會決議事項を報告後、緊急支部大会を開くべく日夜準備を急いでいたがいよ／＼二十五日平市磐女講堂に管下小中高校より四百の組合員が参会の上緊急臨時大会を開催した、先ず出席確認後清野書記長より開會宣言が行われ、議長、大会役員の任命後小浜支部長の挨拶があつてのち、今次第九回全國大會の報告、同会当面の斗爭經過報告があり、いよいよ核必の組織防衛に関する議事に入つた

現政府が採りつつある教育委員会の市町村設置と教員組合の組織に対する政治的彈壓を斷固として排除しない限り正しい民主教育もわれ／＼教育擔当者の生活も自由も絶對にあり得ないと主張する組合員たちは政府今次の骨抜き教育法の改惡を糾彈する一方吉田文教政策の復古的矛盾に鋭い批判を浴びせわれ／＼は如何なる場合においても現狀組織を維持するために防衛斗爭を推進しようと滿場一致

▼本大會の名をもつて吾々の要求貫徹の意志を決議文に表明し各言論機關を通じ與論に訴える

▼最惡の場合は賜暇も辭しない態度を確立し中央斗爭を強力に支援する

▼今次斗爭の强力な發展のため政府並びに與黨に對する文書戰を展開する等の斗爭方針を決定、彈壓法規反對斗爭の一環として强力な抗議斗爭を展開することとなつた

なお二号議案として夏手手当今後の斗爭推進に關する件が上提され八月縣会を目標として年末手當にも及ぶ廣汎な予算斗爭を行うこととなつた

小名濱町の總務委員會

小名浜町では二十五日午後一時より町長室に於て總務委員會を開き、港祭に關する事項並に水族館設置について協議した

田畑氏會長重任
日鑛常連大會終る

日鑛常連第七回定期大会は二十一、二十二の兩日茨城縣多賀郡櫛形炭礦會館に於いて加盟三十勞組五千名の代表が參集して開いた、議長団に大槻（大日本勿來）高倉（櫛形）飛澤（小田）の三氏が選ばれ、第一日は田畑會長の挨拶、報告事項について本年度の行動方針、破防法、勞働三法反対について協議の結果、來るべき衆議院の選擧には全力をあげて戰うことを申合せ、公明選擧推進運動を起して各種團体に呼びかけることになつた、なお日鑛常連としては日本社會黨右派を強力支持することに決定、第二日目は次の案件について協議決定した

①組織上の名稱を「日鑛常連地方本部」とし組織合理化のために業務を一元化する

②夏季手當は最低昨年末手当の五割増を要求、金額については近く常斗委を開いて決定する

③低品位炭で夏枯れの大日本、植田など七炭礦の救済機關として平市の日鉱常連事務局内に「特殊炭礦對策委員会」を設け販路や融資の斡旋をする

なお決定した新役員は次の通り

会長…田畑金光（大日本勿來）副会長…熊田徹雄（日曹赤井）三浦正（櫛形）事務局長…坂場實（戸部）常任執行委員…成田久一（櫛形）平井一郎（大日本勿來）

賣切迫る？
たつた一枚50圓
一等
3000.000円
たからくじ
ん生は
あり
くあり
つて夢見る亦
のしからずや
抽せん6月30日）
日本勸業銀行平支店

福島宮城　對劍道試合
宮下、遠藤錬士出場

石城劍友クラブは過般郡山市に於いて縣劍道連盟主催により行われた第一回縣劍道選手權大會に出場、縣下より參会した强豪十七組（一組選手五名）にて覇を爭つた結果拔群の成績をもつて見事優勝した

なお來る二十九日仙台市東三番町レヂャーセンターで午後一時より開催される福島、宮城の縣對抗劍道試合は兩縣より二十名の選手が出場することになつており縣の代表として石城地區より次の四名が決定した

錬士＝宮下武（小名浜）
仝遠藤正文（小名浜）
五段＝菊地武男（平）
四段＝村井正（常磐炭礦）

會計檢査
植田營林署に

植田營林署では二十三日より二十九日まで一週間前橋營林局より八島渡邊兩事務官、島原、枝官外四名が來廳して会計檢査を行つている

渡邊中學でバレー大會

縣中体連第二區七方部のバレー大会は二十七日午前九時から渡邊村渡邊中学校庭で湯本中、渡邊中磐崎中が參加して行われるが前年の優勝校は渡邊中学であり女子部は依然強く連續優勝が予想されている

オール福島勝つ
宮城との親善ラグビー

〃既報〃福島市信夫ヶ丘グランドで二十二日行われたオール福島対オール宮城の高校ラグビー親善試合に地元水産高校の今川平八郎、石崎鐵王、小名浜高校荒木七郎ら三君出場したが、各高校より選拔されたチームのため兩軍ともにコンビトが取れず實力を評價するとは難かしく試合は六對六の同点に終つたが五対四の反則により勝敗を決する事になり、反則一点勝ちでオール福島に凱歌があがつた、なお今後は每年こうした親善試合を行つて親交を結ぶことになつた

東日本庭球の縣予選

東日本軟式庭球選手權大会縣予選は一般男子四十八、高校男子、女子ともに四十五組が參加して二十二日午前九時より一般は原の町カトリックコート、高校は原の町高校コートで擧行、當日は無風狀態で絶好のコンディションに熱戰を展開、男子一般は宮川、新村の吳羽組、男子壯年組も長尾、關口の吳羽組、高校男子は久保田、早坂の平商、女子は安部、阿部の福女高組がそれ／＼優勝した

小名浜漁協で船員講習

小名浜漁業協同組合では來る七月一日より船舶職員養成講習會を次の要領で行う

乙種二等航海士、同機關士が四十五日間、丙種航海士、同機關士が三十日間また無線電話級は四十五日間の講習期間で開講するが受講希望者は最寄りの各漁協組、船頭會、機關士會、無線士会、無線局へ当日まで書類または口頭にて申込むこと

日本水素の經協委員會

日本水素小名浜工場經協委員会では來る七月二日次の議題について打合せを行う

①文化体育並びに生産實績と企業方針について
②病院、住宅等の厚生設備について
③時間外勞働に對する協定について

漁業者の經營合理化に就て　①
北畠三郎

自由競爭に對する合理化對策

自由競爭に對する施策としては一つに低廉安價なる鮮魚を多量に漁獲し得るかに掛つてゐる、それには「資材面」「機器面」「人的の面」よりする合理化促進にある。

1）資材面の合理化＝漁業資材の大宗は漁網であるが年々消耗される漁網は莫大なる金額に上り問題は單に經營上の利潤に止らず、網糸の原料の殆んどが總て輸入に俟つ我國に於て漁網の壽命を少しでも長くする事は國際收支の平衡を計る上にも意義がある、近來合成纖維の發達は目覺しいものがあり米國製ナイロンが我國の絹糸を驅逐するが如く、日本合成纖維も亦原料自給の强味からはた又耐久力の上よりも其発達が强く要望されてゐる現況よりして將来綿花を防壓して合成纖維に移行する事は必至である斯る國家的要請の下に合成纖維の助長育成と關聯して漁業資材面の合理化の爲に合成纖維はビニロン、ナイロン、サラン等であるが未だ完全とは云い難く目ずれや撚り戻り等の欠点があり改良の余地はあるが柔軟で透明度高く耐水耐熱虫害等に强い幾多の長所を持つ上に價格の点に於てもビニロンは綿網の二三割高と云う所であり、加うるに透明度による漁獲の增大等を考うれば從來の慣習に囚れず率直に取入れて合理化すべきである、兎角日本の漁業者が綿漁網に對する慣習を脱し切れず漁網の局部的修理に拘り多額の網の修理費を費消して省みない事を或業者は云うたが一考を要する事と思う、又近く漁業證券の資金化を機會に大膽に合成纖維への轉換を計るも一方法である。次に現在使用さるゝ漁網染料の多くはタンニンを主としたカッチ、ケブラッチ等であるが漁網染料の生命たる防腐力、殺菌力共に貧弱で且つ水溶性である、此の欠点を除いたフェノール系、硫化染料系の化学染料は「水に溶けない」「良く染る」「國内で自給し得る」等の長所を持つているが、餘りよく行き渉つてゐないのは遺憾であり、兩者の長短を比較吟味して漁網染料の斯くあらねばならぬ道に邁進することが望ましい。

②機器面に對する合理化＝機器に付いては帝大熱海臨海研究所に於てその漁獲の驚異的增收を擧げた水中灯の使用と音波を使用して魚の習性を利し一本の電線に電流を斷續する事に依り定置の多額に昇る袖網の需要を一掃し得るが如き研究は小名浜海區に於ても利用すべきものが多々あると思う魚探、方探を利用する機器は今迄人の勘に頼つてゐたのを機器の力に依り的確機敏にキャッチして自由競爭に勝たんとする合理化への現れに他ならず、過ぐる年に於ける他海區の不漁を尻目に長崎縣の鰮揚繰の驚異的の水揚も亦魚探の使用がその主因の一つでもあつた、東北地方は未だその普及に於て以西に一毫をゆしてゐることは殘念である

營業開始＝6月10日
◉郡南唯一の冷凍工場完成!!
營業種目
鮮魚冷凍・冷藏・保管
青果物冷凍・賣買
各位の御利用をお待ち致して居ります
磐城冷凍製氷株式會社
代表社員　苅野與三郎
植田町　電話三一九番
◉尚製氷は近日開業致します

外交店員急募
年令＝十七、八才より三十才まで
待遇＝委細面談
味噌・醤油・糀製造元
齋藤晃商店
小名浜町住吉
電話三二七番

大壽し仕出し
うなぎ丼、うなぎ辨当
蒲燒
栄養滿点

金時
小名浜駅前
電一二八

お買物には便利な
專問店会チケツトを
良い品をヨリ安く
良品廉賣
化粧品
布帛製品
手提袋
子供服
雨傘
レーンコート
ワイシャツ
メリヤス
廣巾服地
本染ゆかた
良品廉賣
良い品をヨリ安く
小名濱　越　藤越　TEL156

【1】 日刊（除月曜） 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月19日 運輸省特別承認扱業684號 磐城日日 昭和27年（1952）6月26日（木曜日） 第563号

植田中學校のがけ崩れ
急施町會を招集
對策に特別委員會設置

二十四日午前二時ごろ植田町東館炭礦夫宮川六郎（四五）さん方裏の植田中学校の崖が約三間四方にわたつて崩れ落ち十六坪の平家一棟は十五米も押し流されて倒壊し、寢ていた六郎さんと妻ミドリ（四二）さんは梁の間にはさまれたが、長女ゆり子（二〇）さんは飛び出して救助を求めたため植田消防団が出動して兩名を救助したが、六郎さんは足、ミドリさんは胸部にそれぞれ打撲傷を負い、また会社員小川喜八郎さん方も半壊した そのため渡邊町長は急施町会を招集しその善後策について協議を行い、取敢ず被害者に對して金一封を送り、町の保險醫を派して施療すると共に、渡邊町長、吉田助役、町議全員で現場を視察し救護に万全を盡している、一方消防團も森合團長指揮のもとに破壊された家屋の整理に當つており町当局の總力を擧げての處置は信頼感を一般に與えている なお町では渡邊町長、鷲町会議長、三常任委員長により特別委員会を設け対策を講ずることになつた、また豪雨中危險をおかして病臥中の宮川六郎さんを救助した鳥寛さん及び長男和彦君に對し町より表彰することになつた

日本水素で書道講習會

日本水素小名浜工場書道部では来る二十九日湯本町姥の湯に於て二十七年度第一回書道講習会を開くことになつた 講師は高根澤靜壯、佐伯玄心兩先生で希望者は二十七日午後三時まで同部宛申込むこと

植田營林署の人事異動

植田町營林署事業課生産係長は二十四日付で会津山口營林署に、同收穫課半谷扶氏は長岡營林署に轉任、後任生産係長には長岡營林署より長岡良氏が赴任する事になつた

吳羽の手當要求
會社經營困難こケル

錦町吳羽化學工場勞働組合では二十三日午前九時より組合会議室に於て執行委員会を開き夏季手当（一人当り）一萬圓を要求する事を決議、即日会社側に對して交渉を行つたが會社側では製品賣行不振や單價の変動の影響をうけている現在の經営情況では要求に應じかねる旨の回答をなしたが、勞組側では再度交渉を行う態度を持しており、夏季手当要求斗争は愈々活発化し成行きが注目されている

常磐交通で從業員募集

常磐交通自動車株式会社では次の職種により從業員を募集している

●勤務地 職種＝平…助手三名、車掌五名、植田…運轉手一名、車掌二名富岡…運転手一名車掌一名

●小名浜…運轉手一名、車掌二名

●條件＝通勤可能で運転手は五年以上の有驗者

●試驗日＝七月三日（木）午前九時より平驛前の本社で行う、晝食、筆記用具、運転者は免許證を持參のこと

小名濱町の大早苗振り

小名濱方部並びに泉方部の田植も順調に進み一段落がついたので舊節句に當る本二十六日大早苗振を行うことになつた

六・二五記念デモ
内鄕町役場に押かく

六・二五記念在日朝鮮人總決起大會は二十五日午前十一時から内鄕町宮山神社境内で行われ朝鮮民主民族統一戰線、石城地區委員季龍守ほか三百名が參集 單獨講和反對、平和確立等の大会決議を行つた上、十二時十分デモ行進に移り、毛澤東の寫眞、強制送還反對、朝鮮人に職を與えよ等のプラカードを掲げた一行は金坂を經て常磐西區社宅前から内鄕役場前に至り、本日デモ行進に參加した會員に日當を與えよと町当局に要求、町では理由なき不當な金は出せないと拒絶したゝめデモ隊は出すまで動かぬと頑張つている、一方内鄕自由勞組（組長鈴木磐夫）員百五十名も同時刻町役場を訪れ自由勞組員に夏季手当を支給せよと迫り町當局では助役が應待、目下町長が留守だから自分の一存で決定することは出來ないと斷つたが一同は即時支給を強要してねばつていることの日武力斗争が噂されていたゝめ万一に備え常磐地区警察隊本部、平市署、内鄕、湯本、小名浜各署では殆んど總動員で警戒に當り警察隊本部では非常事態に備え機動班を待機せしめて万全を期した

炭礦婦人協議會
磐炭勞で指導結成

常磐炭礦勞組指導部では全炭礦一万二千の主婦に呼びかけ炭礦婦人協議會（炭婦協）を結成することになつたが、そのねらいは「炭礦の生活は住宅衛生 氣風など特殊な環境にあつて婦人層に何らの文化の交流機關がなく…井戸の中の蛙…のように獨りよがりや獨で惱んでいる傾向がある、お互に炭礦の主婦の在り方衣食住の研究などを話し合い生活の向上を圖る」というものである その組織は各區ごとに單位炭婦協をつくり、本月中に湯本、内鄕、磐崎、鹿島の四礦を一本にした連合会とする、結成について炭勞は指導はするが炭勞の下部機關ではなく勞組はもちろん、どこからも拘束をうけない自主的に運営する団体にする方針である

勞務委員会で時間外手当要求

日本水素小名濱工場勞組では二十四日午前十時より勞務委員会を開き次の事項を決定した

①時間外手当の增額要求

②無報酬殘業の拒否

③時間外の協定はその都度行う

暴行の現行犯擧がる

内鄕町小島豆腐業西丸繁三（三七）は二十一日午後一時半ごろ平市鷹匠町豆腐業佐藤正治さん方で佐藤さんに暴行を加え現行犯で平市署に逮捕された

植田の自轉車泥送檢

住居不定無職森隆滿（二四）は去る十一日午後九時頃錦町江栗農業高木勘四郎さん所有の自轉車一台時價一万円相當を窃取した疑いで二十一日植田地區署に檢擧、二十三日身柄を送檢された

持逃げ專務を逮捕（好間）

平地區署では二十二日栃木縣那須郡生れ住所不定無職元小田炭礦平坑消費組合專務理事鈴木司郎（三五）を業務上横領の疑いにより好間村の知人宅に立寄つたところを逮捕した、鈴木は昨年三月六日消費組合の公金十七万九千六百十一円を拐帯逃走したもので平地區署より指名手配中であつた

天氣豫報 26

【本日】北東の風初めは晴時々曇りの天氣ですが後多少小雨の降る處もあるでしよう

魚菜市況 25

【小名浜中央青果市場】卵九、六〇～一〇たくあん四〇～一二六大根五～三五馬鈴薯一七～三五玉菜一五～二五玉葱二九～三七胡爪七〇～一二〇刀豆六〇～九一茄子一五〇豆五〇～九〇とまと三一～一七一ぐみ一〇〇むき一南爪一一〇

【小名浜魚市場】あじ三五すゞき七〇〇いなだ二二〇平目五八〇

作文

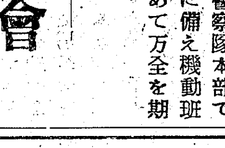
修学旅行

長倉小學校六ノ三

松崎康子

私たちの指折り數えて待つていた修学旅行も、五月二十八日、水曜日に行われました。樂しんでいた旅行も、雨が降りがつかりしてしまいました。驛でたくさんの人々の見送りも雨にぬれひどいようでした。たくさんの人々に見おくられた私達を乗せた汽車は、靜かに動き出しました、泉、植田と汽車は走りました。車中の私達も嬉しさのあまりとても、ふざけました。四時間あまり汽車に乗り上野驛に着きました。私達は、見るとこごとにおどろいてばかりいました。やがて、私達は動物園に着きました。

動物園はちょうど、動物祭で、とてもにぎわつていました。入るとすぐ、飛行機がありました、いろいろな動物を見ましたくじやくの羽は、とてもきれいでした。また、まんとひひや、さる、チンパンジーなどを見て大笑いしました。飛行機の發達を見て「よく變つたものだ」と思いました。それから しか、くま、キリンなど 見たり、水ぞく館を見たり、おつとせいの曲げいを見ました。そこでおべんとうを食べてキリンの前で、寫眞をとりました。キリンが動くので、餌をやりました。そして寫眞屋さんの方を向かせました。二組の枝野先生は「キリンは、かわいそうだな。ばかにばかり、されているんだもの、四組の時は、向かないぞ」と、いつて私達をわらわせました。十二時から ライオンの曲げいを見て、ゆうらんバスに乗りました。バスガールの、說明をきいて、感心したり、おどろいたりしました。皇居前で寫眞をとりました。そこにある松のいわれをききましたそれは、「昔、その松のあつたあたりは、高い塀だつたそうですが、その塀が、こわれたので、殿樣にいつたところ、殿樣は「しばらく待つがよかろう」と、おつしやつたのを、松がよいときいて松の木を植えたということです」と、いうのでした。またバスに乗り、いろいろ見學して、またもとの場所にかえり、五時二十分の汽車に乗りました。汽車の中で、私と平塚さんと、石塚さんと石塚さんのおばさんとで、とてもふざけて笑いました。また二組は頭にみかんをのせて取る、と、いう遊びで、大笑いしました。二組の男の人が「ハノハノ藥の歌」や「三つの歌の歌」を歌つたら、先生も、おかしな聲で、歌つたので、笑いました。にぎやかな笑聲をのせて汽車は湯本驛に着きました。たくさんの迎えの中で、私達は、会長さんの挨拶や、お迎えの人々の挨拶をきいて、家へ歸りました。私の樂しみもおわりました。修學旅行も無事におりわました。私は、今日の事を考えながらねてしまいました。



経費をかけずに良い品安く

白生地大暴落
少しづつ高くなりそうです
最安値品がまだあります
今が御買德の時です
ヤール 50円より

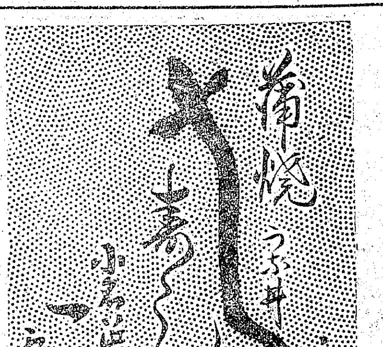
旅行にボストンと手提
600圓位より各種

化粧品
ジユジユクリーム85円
柳屋ポマード 85円

學童用洋傘 大人洋傘
三馬長靴大人850円
學童用長靴 350円より
男女雨靴 650円より
布靴 白 黒 紺各種
丈夫だから賣れる
民族印地下足袋 330圓

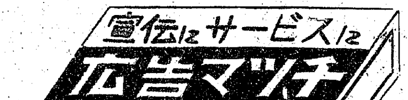
小名浜第二小學校前
皆様の店 平マーケット
電話297番

効めで賣れる
外用コルマン
運動痛、神經痛、リヨウマチス、肩のこり
打身、くぢき、アセモ
二、三回の使用で樂になる新藥注射藥
虫下しなら
マル井藥房
小名浜町西町
電話一一五番



“目に青葉”
“カメラを肩に野に山へ!!”
カメラと寫眞用品
豊富に揃えて有ります
現像・焼付・引伸は優秀な設備と
技術を誇る弊店へ!!
伊勢丹カメラ店
寫眞用額縁あります
小名浜町古港三
電話四〇四番

乞ふ……御期待
來る二十七日（旧節句）
ヒル一時ヨリ・ヨル七時ヨリ開演
播磨屋劇團
狂言 地雷也豪傑物語り
木戸拾圓均一
於 小名濱劇場


宣伝にサービスに
広告マッチ
注文ハ さかいや
平市六丁目 TEL485